

## 国内活動 スリランカと沖縄に架かる虹

### ◆ 50年に思う ◇

私は今年60歳になりました。いわゆる還暦ということです。思えば、本当にいろいろあった60年でした。10歳の頃の私は、体形的にはドラえもんに登場するジャイアンといった感じであり、気質はどちらかと言えばのび太というような子供でした。それから50年、多くの出来事がそんな気質を変え、今ではどちらと言えば物怖じせずにズケズケ物をいう性格になりました。

個人であっても50年という月日はとても長いと思います。そんな50年を共にアジアに存在し過ごしてきたスリランカと沖縄。実は、2023年はスリランカは完全独立から50年という節目の年であり、沖縄も日本復帰から50年という節目の年にあたります。そんなことをメンバーの M さんがポロっと言って、この企画が始まりました。



### ◆ 概要 ◇

イベントの概要は、沖縄料理やスリランカ料理(それぞれの地域の文化)を体験しながら、スリランカの歴史、沖縄の歴史を学ぼうというものです。スリランカ紅茶の歴史では、オンラインで紅茶教室を開催している元 ANA 国際線の CA のたかとりちひろさんにご来場いただき、スライドを使ったわかりやすい説明を、また沖縄からは泡盛の蔵元の関係者からユニークな泡盛の話をしていただき、参加者のみなさんも大変楽しんで時間を過ごしていただくことができました。他のブログでも書きましたが、急遽企画したインド学校の支援の話にも熱心に耳を傾けていただき、スリランカやインドの子供たちのため多くの寄付(総額約80000円)も頂きました。

### ◆ 感激・感想 ◇

元々は、スリランカの奨学生のためのファンドレイジングとして、なにかイベントをしたいというところからスタートし、一人のメンバー柔軟な発想からスリランカの50年、そして沖



縄の50年を共にお祝いしようということで、次々と企画が生まれてきました。そして、そうして集まってくれた参加者の方々からのご寄付、加えて、イベント会場であるお店(東京神保町の東京アチコーコーさん)からもご寄付をいただくなど、人と人との思いがつながり形となったことに、私自身大変感激してしまいました。その後、このイベントを大阪でも実施し、ここでも多くの人に集まっていただきました。本当に感謝に堪えません。地道ではありますが、こうした感動を積み重ねることで次の50年もきっと素晴らしいものになっていくのだろうと感じた時間でした。